

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 1 洪水時の避難行動促進検討業務
業 務 概 要	本業務は、大雨による水害リスクを住民が知るための具体的な方策について検討するとともに、河川・気象の各種情報についてマスコミを通じて簡潔に住民に知らせるためのコンテンツを作成し、迅速な避難や理解促進を図ることを目的とする。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部署の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 石原 康弘 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和元年10月17日
契 約 業 者 名	一般財団法人河川情報センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区麴町1丁目3番地
契 約 金 額	12,947,000円(税込み)
予 定 価 格	12,947,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務は、大雨による水害リスクを住民が知るための具体的な方策について検討するとともに、河川・気象の各種情報についてマスコミを通じて簡潔に住民に知らせるためのコンテンツを作成し、迅速な避難や理解促進を図ることを目的とする。 本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、業務実施方針及び手法、特定テーマに対する提案などを含めた技術提案を求め、簡易公募型(拡大型)プロポーザル方式により選定を行った。 一般財団法人河川情報センターは、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、技術提案書をふまえて当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	埼玉県さいたま市
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和元年10月18日
履 行 期 間 (至)	令和2年 2月28日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。